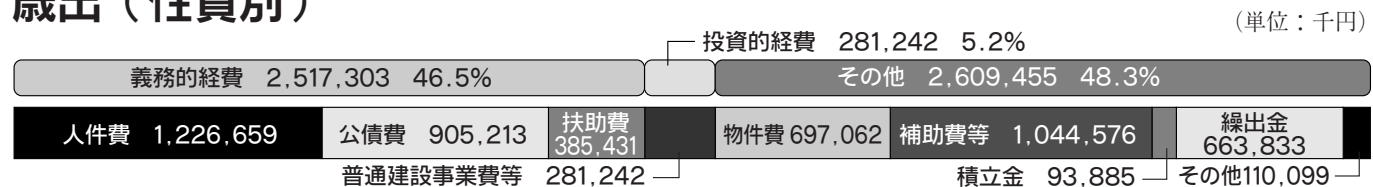


歳出（性質別）



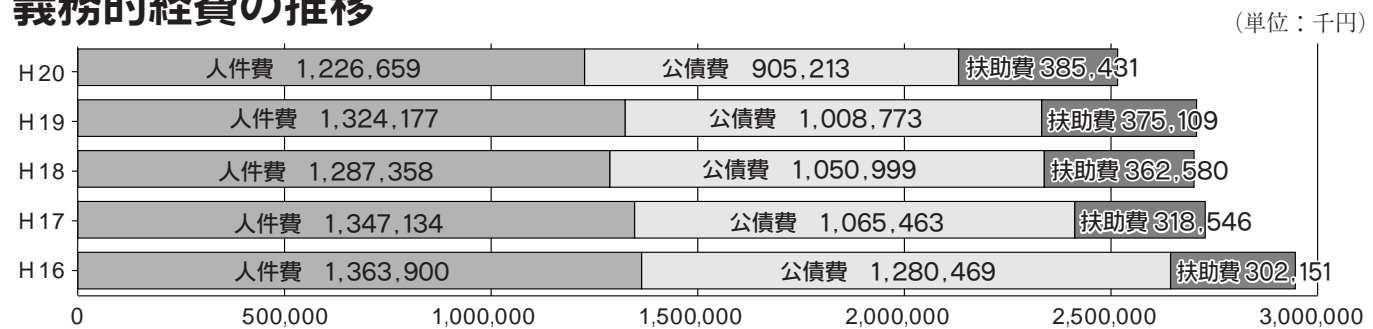
歳出は、経費の性質に着目して、「人件費」「維持補修費」「普通建設事業費」などに分類し、財政構造をみるることができます。

性質別経費のうち、人件費・扶助費・公債費の3つを合わせたものを「義務的経費」といい、支出が義務付けられ、任意に削減できない経費とされています。人件費、公債費については減額となったものの、扶助費については増額となり、高齢化がますます進む中、今後も増加が予想されます。

- ・人件費：12億2,666万円（定員適正化計画に基づき職員の退職に伴う欠員補充を抑えることにより7.4%減）
- ・公債費（事業実施のために借りたお金の返済金）：9億521万円（借入金額の抑制や繰り上げ返済を行ったことな

- どにより、10.3%減）
- ・扶助費（児童、老人、生活困窮者を援助するための経費）：3億8,543万円（2.8%増）
- 「投資的経費」は、道路や公園・学校など社会資本を整備するための経費で、将来に残るものに支出される経費です。性質別で見ると、普通建設事業費や災害復旧事業費がこれに当たります。国から補助金を受けて行う補助事業と、町が単独で行う単独事業などがあります。
- ・投資的経費合計：2億8,124万（前年度に低温による道路のひび割れや町営住宅火災などの災害復旧事業があったため27.3%減）

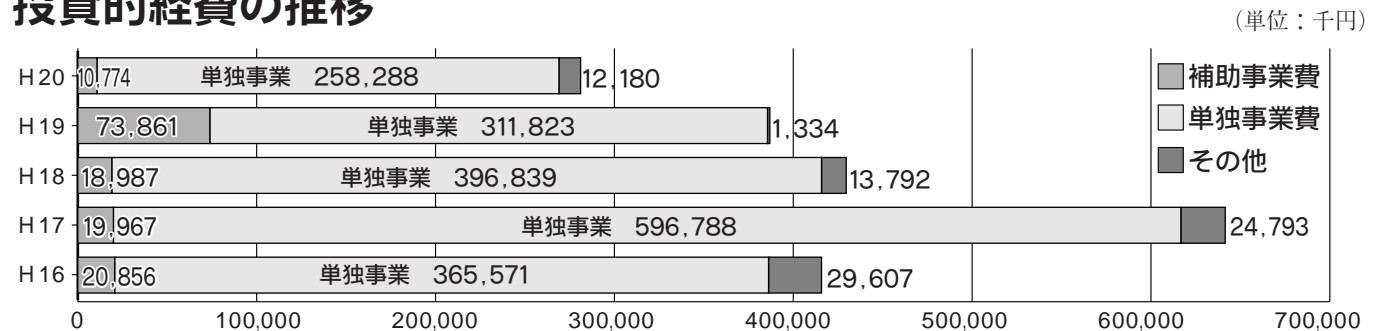
義務的経費の推移



扶助費については少子高齢化の進展により増加していますが、人件費については定員適正化計画による取り組み、公債費については投資的経費の抑制の効果が徐々に現れてきています。

その結果、義務的経費全体で見ると平成16年度と比較して14.6%の減の25億1,730万円となっています。この義務的経費の割合が小さいほど財政の弾力性があり、比率が高くなると財政の硬直度は高まるとされています。

投資的経費の推移



平成17年度には温水プール天井改修事業、町施設のアスベスト除去工事などにより一時的に上昇していますが、平成18年度から第5次矢吹町まちづくり総合計画に基づき限りある財源の効率的、計画的な運用に努めた結果、平成19年度、20年度の単独事業費削減につながりました。

また、総合運動公園の用地取得費の返済を長期に借り換えしたことにより、各年度返済額の軽減を図ったことも平成20年度に大幅減となった理由のひとつです。これにより住民サービスに直結する建設事業費を減らすことなく、投資的経費の削減が可能となりました。

歳出（目的別）



歳出は性質別に分類するほか、使われるお金の目的によって12項目に分類されます。

このうち、民生費（高齢者福祉、児童福祉、障がい者福祉などを充実させるための支出）がもっとも大きな額となり、前年度まで一番大きな割合を占めていた公債費が、借入金額

の抑制や繰り上げ返済を行ったことなどにより1億356万円減額となったことから、構成比で2番目となりました。

続いて、衛生費（ゴミ処理、各種検診、予防接種などの経費）、総務費（全般的な管理事務、徴税、選挙、職員の人件費などに要する費用）、教育費、土木費の順となっています。

～「再建」から「再生」へのステップ～

平成20年度予算が成立しました。

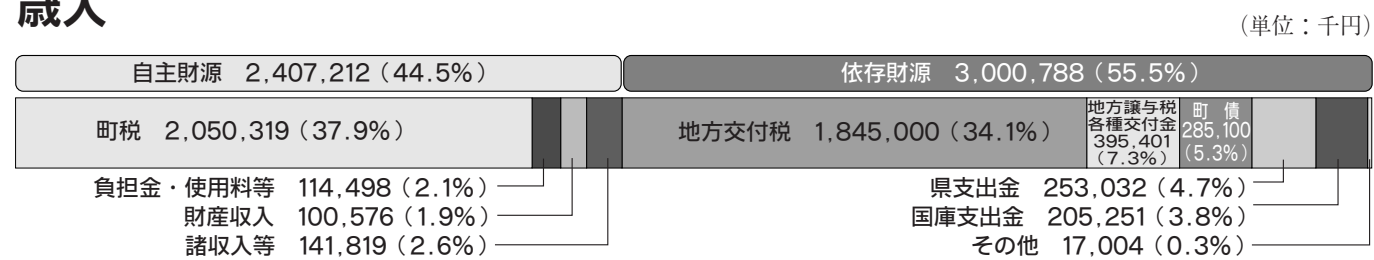
一般会計54億800万円で、前年度から1億2,600万円の減。町を取り巻く情勢は依然、厳しい状況が続いていますが、限られた財源を有効に活用するため、さまざまな施策を盛り込みました。

「さわやかな田園のまち・やぶぎ」実現へ向け、平成20年度のまちづくりをすすめていきます。

問 企画経営課財政再建対策室 ☎(42)2112

予算

歳入



矢吹中学校建設など、今後の大規模な事業に備えるため、昨年度に引き続き、収入の不足分を補うために積み立てている財政調整基金からの繰入をゼロとしたほか、未利用土地売却収入を見込むなど、財源確保に力を入れた内容となっています。

町の収入は「自主財源」と「依存財源」とに分けられます。

自主財源とは、町の独自収入（町民税や使用料・手数料、町有財産の売却代金など）のことで、皆さんの家計に例えると、給料やパート収入、不動産の売却収入などにあたります。平成20年度は24億721万円、収入全体の44.5%となります。

主な増減の内容は次のとおりです。

- ・財産収入：1億58万円（一本木地内資材置き場跡地の売り払い等により58.7%増）
- ・繰入金：187万円（墓地改修工事終了による墓園基金繰入

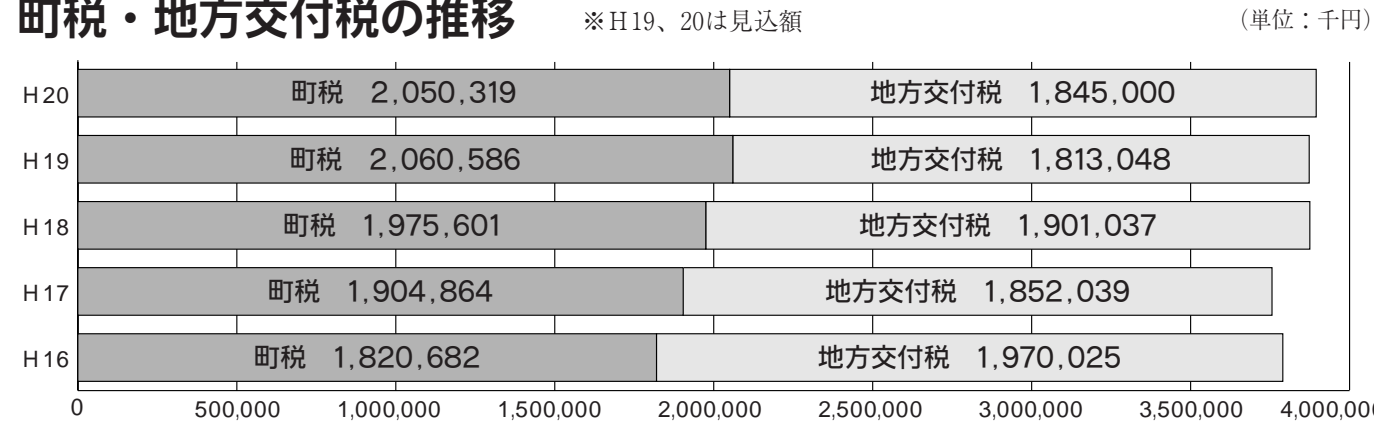
金の減などにより93.7%減）

- ・諸収入：1億995万円（前年度に大池町営住宅火災による保険金収入があったため、20.5%減）

依存財源とは、国や県の意思決定に基づき配分されるもの（地方交付税、国庫・県支出金など）や、事業の財源として町が借り入れを行ったもの（町債）などで、皆さんの家計に例えると、親や親族からの援助、車を購入するために金融機関から借りたお金などにあたります。平成20年度は30億79万円、収入全体の55.5%となります。

- ・地方交付税（町の財政力に応じて国から交付されるお金）：18億4,500万円（都市と地方の税収格差をなくす対策により6.3%増）
- ・寄附金：100万円（社会投票によるまちづくり寄附金制度新設により50,100.0%増）

町税・地方交付税の推移



自主財源と依存財源のそれぞれ主要な収入である「町税」と「地方交付税」の推移です。三位一体改革により国が集めている税金のうち一定の部分を、地方が集めることができるようになったため、自主財源である町税の割合は増加し、

その分地方交付税が削減されます。

自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保できるとされています。

- 産業祭開催事業
- 活力ある商店街支援事業（空き店舗対策）
- 集落営農推進事業
- 県営土地改良整備事業公共施設負担金事業（長峰地区）
- グリーンツーリズム推進事業
- 矢吹町地域支援活性化センター事業

5. 「くらし」

- 若者定住促進事業
- 交通・防犯団体「新矢吹方式」運営事業
- 田町大池線道路整備事業
- 縮沢田内線道路整備事業
- 松倉大池線道路整備事業
- 町道整備事業
- 生活道路(簡易舗装)整備事業
- その他町道(臨道)整備事業

6. 「構想実現のために」

- まちづくり団体支援事業
- 広報やぶき充実事業
- 住民情報システム運用事業
- 戸籍事務処理システム電算化事業
- 行政評価導入事業
- 窓口サービス向上検討事業
- 人事制度総合システム化事業
- 議会活動支援事業（常任委員会等運営事業）
- 社会投票によるまちづくり

「まちづくり総合計画」に基づく主な事業



1. 「人」

- ヘルステーション設置運営事業
- 生活習慣病予防のための健康教室
- 文化センター運営委託事業
- ふるさとの森施設運営委託事業
- 図書館運営委託事業
- 中畑清旗争奪ソフトボール大会事業
- さわやか健康マラソン
- 日本三大開拓地交流事業

2. 「支えあい」

- ボランティアネットワーク事業
- 「遺魂(いだま)し」運動事業
- バリアフリー推進事業
- シニアクラブ設置事業
- 後期高齢者広域連合事業

3. 「子ども」

- 放課後児童クラブ事業
- 第三子以降幼稚園・保育園無料事業
- ファミリーサポートセンター事業
- 幼稚園預かり保育拡大整備事業
- 外国人指導助手招致事業
- 学力向上対策事業
- 特色ある子ども教育推進事業
- 矢吹中学校改築事業

4. 「仕事」

- 企業誘致促進事業



○課長相当職

▽町民生活課長(議会議務局長) 小林伸幸▽議会議務局長(総務課長) 内藤正昭▽企画経営課長兼財政再建対策室長(企画経営課財政再建対策室長) 圓谷誠▽総務課長(総務課主幹・行政管理担当) 会田光一▽税務課収納対策室担当課長兼収納対策室長(総務課主幹・管財契約担当) 富永祥二▽保健福祉課健康増進室担当課長兼健康増進室長(保健福祉課健康増進室長) 深谷昌利▽産業振興課長(産業振興課商工振興対策室長) 須藤源太▽都市建設課長(都市建設課主幹兼課長補佐兼都市整備係長) 藤田豊▽上下水道課長(上下水道課主幹・総務経理担当) 堀勇次▽会計管理者兼出納室長(税務課収納対策室長) 小針茂▽総務課主幹・行政管理担当(保健福祉課主幹・健康増進担当) 陳野秀敏▽

総務課主幹・管財契約担当(生涯学習課主幹・生涯学習総務担当) 納谷朝男▽保健福祉課主幹・福祉担当(保健福祉課主幹兼課長補佐兼福祉係長) 菊地利雄▽産業振興課商工振興対策室長(企画経営課主幹・企画経営担当) 藤田忠晴▽都市建設課主幹・管理担当(税務課主幹・収納対策担当) 赤塚文夫▽都市建設課主幹兼課長補佐兼都市整備係長(産業振興課主幹兼課長補佐兼農政係長) 井戸沼寿量▽上下水道課主幹・総務経理担当(上下水道課主幹・施設管理担当) 野崎義雄▽学校教育課主幹・教育総務担当(町民生活課主幹・民生生活課主幹・総合窓口担当(生涯学習課副主幹・生涯学習総務担当) 白坂恵悟▽保健福祉課主幹兼課長補佐兼介護保険係長(保健福祉課課長補佐兼介護保険係長) 野木秀一▽産業振興課主幹兼課長補佐兼農地係長(産業振興課課長補佐兼農地係長) 仲島哲朗▽生涯学習課主幹・生涯学習振興担当(生涯学習課副主幹・生涯学習振興担当) 橘信利▽学校教育課主幹兼あさひ保育園長(学校教育課主幹兼矢吹幼稚園長) 人見光子▽学校教育

育課主幹兼矢吹幼稚園長(中央幼稚園副園長) 仲西喜代子▽学校教育課主幹兼三神幼稚園長(三神幼稚園副園長) 福島静子
○課長補佐相当職
▽企画経営課副主幹・財政再建対策担当(町民生活課副主幹・生活安全担当) 佐久間一幸▽上下水道課副主幹・施設管理担当(産業振興課副主幹・商工振興対策担当) 丹内幸夫▽企画経営課副主幹・企画財政担当(企画経営課主任主査・財政再建担当) 阿部正人▽総務課副主幹・行政管理担当(総務課主任主査・行政管理担当) 三瓶貴雄▽総務課副主幹・管財契約担当(総務課主任主査・管財契約担当) 泉川稔▽保健福祉課副主幹・健康増進担当(保健福祉課主任主査・健康増進担当) 長岐祥子▽産業振興課課長補佐兼農政係長(上下水道課主任主査・施設管理担当) 小針良光▽出納室長補佐兼出納係長(出納室主任主査兼出納係長) 渡邊京子▽税務課主任主査・収納対策担当(町民生活課主任主査・総合窓口担当) 梅原喜美▽町民生活課主任主査・生活安全担当(町民生活課主査) 山野辺幸徳▽保健福祉課主任主査兼福祉係長(保健福祉課主任主査) 阿部静▽保健福祉課主任主査・健康増進担当(

保健福祉課主任保健技査) 白坂敏子▽保健福祉課主任主査・健康増進担当(社会福祉協議会派遣) 梅原佳代子▽産業振興課主任主査・商工振興対策担当(産業振興課主査) 佐藤浩彦▽都市建設課主任主査兼管理係長(都市建設課主査) 佐藤豊▽学校教育課主任主査・教育振興担当(学校教育課主査) 氏家康孝▽あさひ保育園副園長兼保育係長(中畑幼稚園副園長) 佐藤恵理子▽中央幼稚園副園長(矢吹幼稚園専門教諭) 大河原篤子▽中畑幼稚園副園長(矢吹幼稚園専門教諭) 圓谷智子▽三神幼稚園副園長(三神幼稚園専門教諭) 渡部育子▽あさひ保育園専門技査(ひかり保育園専門技査) 小針静江▽矢吹幼稚園専門教諭(ひかり保育園専門技査) 小貫幸子
○係長相当職
▽企画経営課主査(都市建設課主査) 小椋勲▽税務課主査(生涯学習課主査) 常松浩二▽保健福祉課主査(上下水道課主査) 熊田真由美▽保健福祉課主査(上下水道課主査) 大野裕貴▽産業振興課主査(税務課主査) 神山義久▽産業振興課主査(企画経営課主査) 柏村秀一▽上下水道課主査(都市建設課主査) 芳賀直美▽上下水道課主査(町民生活課主査) 齋藤常和▽上下水道課

主査(総務課主査) 小高光弘▽税務課主査(税務課副主査) 星正人▽町民生活課主査(上下水道課副主査) 鈴木秀人▽町民生活課主査(町民生活課副主査) 佐久間美華▽保健福祉課主査(保健福祉課副主査) 菅野洋司▽保健福祉課保健技査(保健福祉課保健技師) 五百川里美▽生涯学習課主査(保健福祉課副主査) 角田良次
○副主査・主事相当職
▽町民生活課副主査(産業振興課副主査) 水戸政司▽学校教育課副主査(税務課副主査) 鈴木直人▽税務課主事(学校教育課主事) 安田真紀子▽あさひ保育園保育技師(ひかり保育園保育技師) 酒井亜希子▽矢吹幼稚園教諭(ひかり保育園保育技師) 阿部郁恵▽三神幼稚園教諭(中央幼稚園教諭) 佐久間夕佳
○退職(3月31日付)
▽企画経営課長 渡辺正樹▽町民生活課長 長岐敬一▽産業振興課長 須藤修平▽都市建設課長 坂本明司▽上下水道課長 渡辺正弘▽会計管理者兼出納室長 熊田建一▽あさひ保育園長 齋藤邦男▽ひかり保育園長 薄井史男▽学校教育課主幹兼三神幼稚園長 鈴木のり子▽都市建設課副主幹 川上豊久▽上下水道課副主幹 須藤栄美▽あさひ保育園副園長 塩田邦子

特別会計

- ：総額40億3、468万円
- ※() は対前年度比
- 国民健康保険特別会計
：20億7、784万円(△2.2%)
自営業や農業の方などの医療費をまかなう会計です。
- 公共下水道事業特別会計
：6億2、744万円(32・0%)
市街地の下水道整備などを行う会計です。
- 土地造成事業特別会計
：3、237万円(△0.1%)
町が造成した土地を販売、維持管理するための会計です。
- 老人保健特別会計
：1億4、759万円(△90・9%)
75歳以上の高齢者の医療費をまかなう会計です。なお、この会計は平成22年度まで存続し、23年度からは「後期高齢者医療特別会計」へと引き継がれます。
- 農業集落排水事業特別会計
：1億7、707万円(5.7%)
農村環境整備のための下水道整備などを行う会計です。
- 介護保険特別会計
：8億2、580万円(2.9%)
各種介護サービスなど、介護保険制度を運営する会計です。
- 後期高齢者医療特別会計
：1億4、657万円(新規)
平成20年度からの75歳以上の高齢者の医療費をまかなう会計です。
- 企業会計
：10億563万円
水道事業会計
：10億563万円(57・1%)
安全な飲み水を供給するための会計です。